

‘19(平成31)年1月7日



1月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



難を転じて

学校長 岡野 真由美

～新年おめでとうございます～

平成最後のお正月を、どのように過ごされたでしょうか。穏やかな一年の始まりであったなら幸いです。

日本のお正月には、縁起のよい生け花を飾る風習があります。松・竹・梅や紅白の葉ぼたん等とともに、赤い実のなる植物も添えて生けます。名前からして金運に恵まれそうな千両や万両も縁起がよいですが、天を突くように赤い大粒の実がなる「南天」も「難を転じる」と言われて人気のある植物です。

南天の原産地は中国で、日本では本州・四国・九州に分布しています。高さはだいたい2mくらいの常緑低木で、5月～6月頃茎の先端に小さな白い花を多数つけ、冬を迎える頃になると、直径6～7mmの大きさの球形の実が赤く熟してきます。この実に含まれる成分には咳を鎮める作用があり、薬やのど飴に使われることもあるようです。葉には防腐作用や殺菌作用があるため、赤飯の上に置いたりや生魚の下に敷いたりして進呈すると喜ばれます。お節料理の飾りにもよく使われます。そして、何よりもその名の響きが「難転」「成天(なるてん)」などの意味にとらえられて、武士の時代より愛されてきました。また、「汚れを清める」「火災を避けられる」という言い伝えもあるため、現在でも庭木として植える家が多いと聞きます。

子どもの頃、県名と県庁所在地を地図に書き込むテストがあり、勉強せずに臨んだ私の得点は実にひどいものでした。それまで地図には興味がなく関東地方の県名と場所もうる覚えの私は、1週間後の再テストに向けてどうすればよいか子どもなりに考えました。そして、広告の裏に日本地図を写し県境の線を引いて、(コピー機など身近になかった時代です。)その上半紙を重ね透かしながら県名と県庁所在地名を書き込む学習を思いつきました。「よし、覚えた!」と自分で納得するまで繰り返し、再テストの日を迎えました。このことから、私は筆記して覚えるタイプだということが分かりました。また、地図を何度も見直したため市や町の名をたくさん覚えました。子どもの頃に覚えたものは今でも忘れることがありません。旅行が好きになったのもこの経験のおかげだと思っています。自信満々だったのに、再テストは「新潟」の漢字ミスで2点減点でした。よほど悔しかったのか、私はその後、漢字を正確に書くことに気を付けるようになっていきました。もし最初からそこそこの得点で満足していたら、また別の自分になっていたかもしれません。

難に出会ったときに耐える、失敗してしまったときに反省するだけでなく、難や失敗を逆に自分の有利になるように工夫したり考え方を変えたりする、つまり「ピンチをチャンスに変える」ことが自分自身を向上させたり新たな生き方の発見につながったりしていくのではないかと思います。釜利谷小学校の2019年はそんな方針を大切にしていきたいです。

十二支最後の亥年。目標に向かって前進、前進の一年になるよう努力していきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

